

輝け 常葉っ子

実りの秋・期分けの式の発表を思い出そう!

先日行われましたマラソン記録会では、保護者の方からたくさんの応援をいただきありがとうございました。子ども達も全力で走り抜きました。閉会式での各学年の感想発表も大変りっぱでした。そこで更に思い出したのは、期分けの式(10月10日実施)での各学年の子ども達の発表です。子ども達にはもう一度お互いの内容を読み返し、自分自身のはげみにしてほしいと思います。

わたしは、ひらがながかけるようになりました。

せんせいと、ママと、いっぱいれんしゅうをしました。

こうきは、かんじをがんばります。

(1ねん いいい あすか)

わたしのぜんきの学しゅうのめあては、かん字の書きじゅんをおぼえることでした。バランスのよい字をかくために、ドリルの書きじゅんを見ながら、ゆび書きをして、正しく覚えてから、かん字れんしゅうをがんばりました。生活のめあては、ハンカチ、ティッシュを毎日もってくることでした。わすれないでもってこれることができました。こうきは、文しょうを正しく読んで、もんだいにこたえられるようになります。それと、マラソンきろく会やなわとび大会にむけて、れんしゅうをがんばりたいです。

(2ねん さとう みおり)

ぼくが前向きにがんばったことは、運動会の練習と本番です。ぼくの家ではいつも合い言葉があります。それは、「しっぱいしてもいいからどんなことがあってもさい後まであきらめずがんばる。」です。苦手な百二十メートル走を走っている時にこの合い言葉を思い出しながら最後まで、走りきることができました。後きには、マラソン大会やなわとび大会があるので、いっしょうけんめい練習してさい後までがんばりたいです。

(3年 むなかた そうた)

私の前期にがんばった事は、二つあります。一つ目は、ハンカチ、ちり紙をわすれずにもってきた事です。4年生の最初の時は忘れてばかりだったけれど、「一ヶ月ハンカチ、ちり紙をもってきたら、シールをあげます。」と先生のこの一言で私はわかりました。私はシールのために、ハンカチ、ちり紙をもってきて、シールをもらえて、うれしかったです。しかし、今ではシールのためではなくて自分のためにハンカチ、ちり紙をもってくるようになりました。二つ目はあいさつです。四年生の最初は学校の先生だけに「こんにちは」と言っていました。朝歩いてきた時も地いきの人にはあいさつをしていなかったけれど、6年生や上の人が、「おはようございます。」と地いきの人に言ったのを見て、はずかしがっていないでどうどうとあいさつすることに決めました。今では地いきの人に「こんにちは。」「おはようございます。」と言えるようになり、6年生に感謝したいです。

私が後期にがんばりたいことは、二つあります。一つ目は給食をのこさずに食べることです。理由は、私はすききらいがすごくはげしくてにがてな物がいっぱいあります。1年生の時からがんばっているはずなのにどうしても食べられないものがあるので、後期にむけて「やさいチャレンジ」をしたり、やさいをもっと食べてみたいと思います。(裏面続く)

二つ目は算数です。理由は私は算数がきらいで、算数の時間は首をめっちゃふっています。だから、後期は、算数のせいせきをあげたいです。そして、みんなともっと楽しく、にがてをこくふくしていきたいです。

(4年 えんどう にの)

ぼくが前期にがんばったことを生活面と学習面にわけて発表します。生活面で意きして取り組んだことは、手洗いうがいです。コロナウイルス感染症が五類に変更されてから、今年は学校生活や様々な行事を今までのようにみんなで集まったり、声を出したりできるようになりました。みんなで楽しい思い出をつくることができるように、手洗いうがいをしっかりやることができました。

学習面では、苦手な算数の学習をがんばりました。特にわり残のひっ算や倍数、約数の単元がよく理解できなかったのですが、宿題でこの単元の問題が出てきたときは、教科書でとき方をかくにんしながらやりました。わからないことをそのままにせずしっかり向き合うことで苦手な学習をこく服することができました。後期も算数をがんばっていきたいと思います。

(5年 さんぺい そうご)

私は、6年生になってから前期が終わるまでの約6ヶ月間がとても早く感じました。楽しいことも、大変なこともたくさんあった半年間でしたが特に心に残っている行事は運動会です。6年生にとっては最後の運動会でした。最高の運動会にするために、精一ぱい練習をし、みんなで支え合いながらがんばりました。下級生のみなさんは、運動会を全力でがんばれるチャンスがありますから、私達をこえるような運動会をつくりあげてほしいと思います。

前期では、6年生になったばかりで、環境の変化などになれず、緊張しすぎてしまうことがよくありました。しかし、後期が近づいてくるにつれ、その緊張も少しずつうすれてきました。後期からはその緊張している心も大切に思いながら、気を張りすぎずにがんばりたいと思います。

(6年 わたなべ その)

マラソン記録会の一コマ

